

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年8月12日

**【四半期会計期間】** 第67期第2四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** 株式会社共和電業

**【英訳名】** KYOWA ELECTRONIC INSTRUMENTS CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 星 淑夫

**【本店の所在の場所】** 東京都調布市調布ヶ丘3丁目5番地1

**【電話番号】** 042(488)1111(大代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経営管理本部長 田中 義一

**【最寄りの連絡場所】** 東京都調布市調布ヶ丘3丁目5番地1

**【電話番号】** 042(488)1111(大代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経営管理本部長 田中 義一

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第66期 第2四半期 連結累計期間		第67期 第2四半期 連結累計期間		第66期	
		自 至	平成24年1月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年1月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年1月1日 平成24年12月31日
売上高	(千円)		6,560,671		6,844,957		13,354,752
経常利益	(千円)		554,331		861,629		1,088,247
四半期(当期)純利益	(千円)		304,696		565,255		601,434
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		354,870		703,858		685,462
純資産額	(千円)		8,729,314		9,640,043		9,092,678
総資産額	(千円)		17,127,915		18,389,910		17,603,207
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		12.26		22.48		24.13
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		51.0		52.4		51.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		372,324		1,237,557		816,651
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		39,672		152,314		98,352
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		445,268		445,539		614,278
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		3,147,514		4,090,337		3,400,640

回次		第66期 第2四半期 連結会計期間		第67期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		0.27		7.35

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融緩和等の政策による先行き期待感により円高の是正や株価の回復がすみ、景気回復への明るい兆しが見られるものの、民間における設備投資はまだ慎重であり、全体としては実体経済面における顕著な改善までには至っておりません。また、中国および新興国経済の減速など、景気全体の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

計測機器業界におきましては、輸出企業を中心に一部設備投資の回復傾向が見られるものの、全体としては、設備投資に対して依然慎重な姿勢が続いており、本格的な回復には至っておりません。

このような事業環境のなか、当企業グループは、平成25年度を初年度とする「第4次中期経営計画」を策定し、新たな事業領域の開拓とグローバルビジネスの拡充をはかる各種施策の取り組みを開始いたしました。

当第2四半期連結累計期間における受注高は、一部企業の設備投資の回復などにより、7,397百万円（前年同期比9.2%増）となりました。また、売上高につきましても、6,844百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

収益につきましては、売上高の増収と、製品の採算性向上により、営業利益は804百万円（前年同期比48.0%増）、経常利益は861百万円（前年同期比55.4%増）、四半期純利益は565百万円（前年同期比85.5%増）と前年同期に比べそれぞれ大幅な増益となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### 計測機器セグメント

センサ及び測定器等の製品販売につきましては、自動車関連企業の設備投資の回復により、売上高は5,732百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

保守・修理業務につきましては、機器修理については堅調に推移したものの、保守・点検業務が減少し、売上高は410百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

以上その他を含め、計測機器セグメントにつきましては、売上高は6,142百万円（前年同期比5.3%増）となりました。また、セグメント利益（売上総利益）は2,546百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

#### コンサルティングセグメント

コンサルティングセグメントにつきましては、ダム安全性を計測するセンサ設置等のダム関連分野は堅調に推移したものの、インフラ関連工事等が低調であったため、売上高は702百万円（前年同期比3.4%減）となりました。また、セグメント利益（売上総利益）は262百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

## (2)財政状態の分析

### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、18,389百万円となり、前連結会計年度末に比べ786百万円の増加となりました。

流動資産につきましては、12,354百万円となり、前連結会計年度末に比べ661百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が694百万円、たな卸資産が339百万円がそれぞれ増加し、受取手形及び売掛金が476百万円減少したことによるものであります。

固定資産につきましては、6,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ125百万円の増加となりました。その主な要因は、投資その他の資産が95百万円増加したことによるものであります。

### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、8,749百万円となり、前連結会計年度末に比べ239百万円の増加となりました。

流動負債につきましては、5,738百万円となり、前連結会計年度末に比べ706百万円の増加となりました。その主な要因は支払手形及び買掛金が152百万円、未払法人税等が103百万円、賞与引当金が26百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債につきましては、3,011百万円となり、前連結会計年度末に比べ467百万円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金が434百万円減少したことによるものであります。

### (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、9,640百万円となり、前連結会計年度末に比べ547百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金が364百万円、その他有価証券評価差額金が106百万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (3)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ689百万円増加し、4,090百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益865百万円、減価償却費184百万円、売上債権の減少479百万円、仕入債務の増加147百万円等の資金流入に対し、たな卸資産の増加339百万円、法人税等の支払259百万円等の資金流出がありました。その結果、全体では1,237百万円の資金流入(前年同四半期は372百万円の資金流入)となりました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、投資有価証券の売却による収入4百万円等の資金流入に対し、有形固定資産の取得129百万円、無形固定資産の取得19百万円等の資金流出があり、全体では152百万円の資金流出(前年同四半期は39百万円の資金流出)となりました。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、長期借入れによる収入100百万円、株式給付信託に係る自己株式の処分による収入44百万円の資金流入がありましたが、長期借入金の返済284百万円、配当金の支払199百万円等により、全体では445百万円の資金流出(前年同四半期は445百万円の資金流出)となりました。

## (4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5)研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は435百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	99,570,000
計	99,570,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	25,758,800	25,758,800	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 1,000株
計	25,758,800	25,758,800		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		25,758,800		1,309,440		1,344,609

(6) 【大株主の状況】

平成25年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
共和電業従業員持株会	東京都調布市調布ヶ丘3 - 5 - 1	1,831	7.10
共和協栄会	東京都調布市調布ヶ丘3 - 5 - 1	1,261	4.89
株式会社みずほコーポレート銀行	東京都千代田区丸の内1 - 3 - 3	1,029	3.99
株式会社ニッカトー	大阪府堺市堺区遠里小野町3 - 2 - 24	814	3.16
株式会社チノー	東京都板橋区熊野町32 - 8	711	2.76
渡邊稔子	東京都目黒区	599	2.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託E口)	東京都中央区晴海1 - 8 - 11	573	2.22
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2 - 7 - 1	550	2.13
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	東京都中央区晴海1 - 8 - 12	475	1.84
西華産業株式会社	東京都千代田区丸の内3 - 3 - 1	450	1.74
計		8,294	32.20

- (注) 1 資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している株式475千株は、「株式給付信託(従業員持株会処分型)」を導入したことに伴い、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が取得したものであります。なお、当該株式は四半期連結財務諸表上、自己株式として処理しております。
- 2 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。  
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 573千株
- 3 株式会社みずほコーポレート銀行は、平成25年7月1日をもって株式会社みずほ銀行と合併し、商号を株式会社みずほ銀行に変更しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 44,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 25,618,000	25,618	
単元未満株式	普通株式 96,800		
発行済株式総数	25,758,800		
総株主の議決権		25,618	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式のうち、475,000株(議決権の数475個)につきましては、「株式給付信託(従業員持株会処分型)」を導入したことに伴い、資産管理サービス信託銀行株式会社が所有しているものがあります。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式897株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社共和電業	東京都調布市調布ヶ丘 3 - 5 - 1	44,000		44,000	0.17
計		44,000		44,000	0.17

(注) 平成25年6月30日現在の自己株式数は、44,897株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,755,640	4,450,337
受取手形及び売掛金	1 5,031,709	1 4,555,390
商品及び製品	732,165	902,476
仕掛品	676,419	835,320
未成工事支出金	32,432	53,264
原材料及び貯蔵品	1,182,321	1,171,718
その他	285,922	388,739
貸倒引当金	3,565	3,149
流動資産合計	11,693,044	12,354,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,501,067	2,436,063
その他(純額)	1,335,070	1,421,172
有形固定資産合計	3,836,137	3,857,235
無形固定資産		
	94,597	103,153
投資その他の資産		
その他	1,981,705	2,077,307
貸倒引当金	2,278	1,884
投資その他の資産合計	1,979,427	2,075,423
固定資産合計	5,910,163	6,035,811
資産合計	17,603,207	18,389,910
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,359,118	1,511,672
短期借入金	1,080,000	980,000
未払法人税等	248,637	352,160
賞与引当金	164,930	191,337
役員賞与引当金	29,450	17,634
その他	2,149,509	2,685,411
流動負債合計	5,031,645	5,738,216
固定負債		
長期借入金	891,761	456,963
退職給付引当金	2,426,775	2,381,543
役員退職慰労引当金	127,821	115,180
資産除去債務	11,687	11,803
その他	20,837	46,159
固定負債合計	3,478,883	3,011,650
負債合計	8,510,529	8,749,866

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,309,440	1,309,440
資本剰余金	1,344,609	1,349,709
利益剰余金	6,476,086	6,840,646
自己株式	174,420	135,319
株主資本合計	8,955,714	9,364,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119,619	226,228
為替換算調整勘定	17,344	49,338
その他の包括利益累計額合計	136,963	275,566
純資産合計	9,092,678	9,640,043
負債純資産合計	17,603,207	18,389,910

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	6,560,671	6,844,957
売上原価	4,088,758	4,036,015
売上総利益	2,471,912	2,808,941
販売費及び一般管理費	1,928,231	2,004,325
営業利益	543,680	804,616
営業外収益		
受取利息	2,017	3,818
受取配当金	20,164	18,440
為替差益	-	50,011
その他	26,715	21,208
営業外収益合計	48,896	93,479
営業外費用		
支払利息	29,187	23,590
その他	9,058	12,874
営業外費用合計	38,245	36,465
経常利益	554,331	861,629
特別利益		
投資有価証券売却益	3,881	3,750
特別利益合計	3,881	3,750
特別損失		
投資有価証券評価損	13,234	-
固定資産廃棄損	5,251	-
特別損失合計	18,486	-
税金等調整前四半期純利益	539,727	865,379
法人税、住民税及び事業税	184,816	360,969
法人税等調整額	50,214	60,845
法人税等合計	235,031	300,124
少数株主損益調整前四半期純利益	304,696	565,255
四半期純利益	304,696	565,255

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	304,696	565,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,706	106,608
為替換算調整勘定	2,467	31,994
その他の包括利益合計	50,173	138,602
四半期包括利益	354,870	703,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	354,870	703,858

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	539,727	865,379
減価償却費	179,201	184,893
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,411	810
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,734	45,232
賞与引当金の増減額(は減少)	23,897	26,406
役員賞与引当金の増減額(は減少)	11,696	11,815
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	10,123	12,641
受取利息及び受取配当金	22,181	22,259
支払利息	29,187	23,590
投資有価証券評価損益(は益)	13,234	-
売上債権の増減額(は増加)	69,438	479,116
たな卸資産の増減額(は増加)	43,386	339,124
仕入債務の増減額(は減少)	123,869	147,401
その他	74,032	203,811
小計	680,886	1,498,717
利息及び配当金の受取額	22,433	22,098
利息の支払額	29,946	23,942
法人税等の支払額	301,049	259,315
営業活動によるキャッシュ・フロー	372,324	1,237,557
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(は増加)	-	5,000
投資有価証券の売却による収入	22,366	4,500
有形固定資産の取得による支出	55,075	129,771
無形固定資産の取得による支出	11,762	19,152
その他	4,797	2,889
投資活動によるキャッシュ・フロー	39,672	152,314
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	100,000
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	286,956	284,798
自己株式の取得による支出	121	272
自己株式の処分による収入	44,420	44,474
配当金の支払額	197,976	199,044
その他	4,634	5,898
財務活動によるキャッシュ・フロー	445,268	445,539
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,104	49,993
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	107,512	689,697
現金及び現金同等物の期首残高	3,255,026	3,400,640
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,147,514	1 4,090,337

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	122,917千円	94,993千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
給与手当	595,822千円	626,919千円
賞与引当金繰入額	64,893 "	77,832 "
役員賞与引当金繰入額	14,796 "	17,634 "
退職給付費用	53,864 "	48,153 "
役員退職慰労引当金繰入額	14,055 "	14,925 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
現金及び預金	3,502,514千円	4,450,337千円
預入期間が3か月を超える定期預金	355,000	360,000
現金及び現金同等物	3,147,514	4,090,337

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月29日 定時株主総会	普通株式	205,737	8	平成23年12月31日	平成24年3月30日	利益剰余金

(注)配当金の総額には、従業員持株会信託口に対する配当金7,528千円を含めております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月28日 定時株主総会	普通株式	205,719	8	平成24年12月31日	平成25年3月29日	利益剰余金

(注)配当金の総額には、従業員持株会信託口に対する配当金5,024千円を含めております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	コンサル ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,833,496	727,174	6,560,671		6,560,671
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	5,833,496	727,174	6,560,671		6,560,671
セグメント利益	2,231,893	240,018	2,471,912		2,471,912

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益の金額と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	コンサル ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,142,379	702,577	6,844,957		6,844,957
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	6,142,379	702,577	6,844,957		6,844,957
セグメント利益	2,546,897	262,044	2,808,941		2,808,941

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益の金額と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。なお、「普通株式の期中平均株式数」は、株式給付信託口が所有する当社株式を自己株式数に含めて算定しております。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	12.26円	22.48円
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	304,696	565,255
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	304,696	565,255
普通株式の期中平均株式数(千株)	24,845	25,146

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月12日

株式会社共和電業  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木 真一郎 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大和 哲夫 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鳥羽 正浩 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社共和電業の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社共和電業及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。